

店舗統合のお知らせ

下記、2店舗の店舗統合を実施させていただきます。
これまでのみなさまのご愛顧に感謝申し上げます。
お客さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、これまでと変わらぬサービスの提供に努めてまいります。

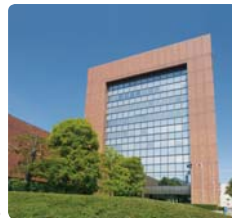
対象店舗	統合日
戸隠支店を 大門町支店に統合	平成28年10月11日
南支店市場出張所を 南支店に統合	平成29年3月6日

お問い合わせ先／フリーダイヤル **0120-481-801**
受付時間／9:00～17:00 (土・日・祝日は除く)

長野信用金庫の概要

(平成28年9月30日現在)

創立：1923(大正12)年9月1日
本店所在地：〒380-8686
長野県長野市居町133番地1
店舗数：41本支店
店舗外ATM20ヵ所
常勤役員数：644名
会員数：61,128名



本店・本部

インターネットホームページ：<http://www.nagano-shinkin.jp/>
当パンフレットのお問い合わせ先：
長野信用金庫 総合企画部 電話：026-228-0221

本誌に記載の金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

北信地方 創生プロジェクト(上半期)

- ◆ 第13回「長野しんきんビジネスフェア2016」を開催(5月11日)、過去最多数の出展社・来場者に(出展:264企業・団体、来場者:約2,500人)。
- ◆ 生産現場を改善して競争力を向上させることを目指し、「しんきん現場改善指導会」を毎月2日間実施。専門家を13社に延べ19回派遣。
- ◆ 第57回「電話対応コンクール北信地区大会」で2名が優秀賞を受賞(9月6日)。県大会でうち1名が第2位を獲得し(10月14日)、全国大会に出場(大阪:11月18日)。(公益財団法人日本電信電話ユーザ協会主催) →
- ◆ 「長野しんきん次世代トップスクール」～Second Stage 第2章～を開講。視察研修を含めた実践形式の勉強会を平成29年3月8日まで7回開催。
- ◆ 「しんきんネット利活用よろず相談会」を創設。9月8日に第1回を開催。金融機関とネッパン協議会が連携し、定期的に開催する個別相談会は全国で初の試み。
- ◆ 創業支援セミナーと個別相談会を開催(9月13日)、64名が参加。 →
- ◆ 平成28年度上半期の創業・新事業支援融資は71件、3億42百万円の実績。



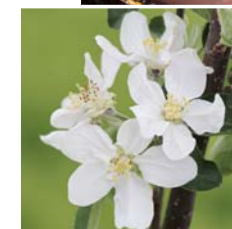
あゆみ(上半期)

- 4月12日 取引先企業の新入社員34名を対象に「地域企業社員研修会」を開催
- 4月17日 長野マラソンにしんきん職員48名がボランティアとして参加
- 5月7日 しんきんの管理職向け「女性活躍推進セミナー」を開催 →
- 5月19日 しんきんの女性職員キャリアアップ講座を開催
- 6月～8月 アンパンマンお絵かき大会を開催
- 6月6日 SHINKIN愛の募金活動(～17日)
- 6月9日 献血運動に職員41名が参加 →
- 6月15日 全店の店頭で、AC長野パルセイロの選手も加わり、特殊詐欺被害防止キャンペーンを展開
- 6月15日 ご来店感謝デーを実施
- 6月15日 全営業店でクリーン運動
- 7月21日 長野市と「認知症見守りSOSネット事業」に関する協定を締結 →
- 7月26日 しんきんが長野県「特殊詐欺被害防止協力企業・団体」として認証
- 8月6日 「長野びんずる祭り」に「しんきん連」として96名が参加
- 9月1日 全営業店でクリーン運動
- 9月7日 インターンシップで大学生14名が信用金庫の業務を体験



しんきん 2016

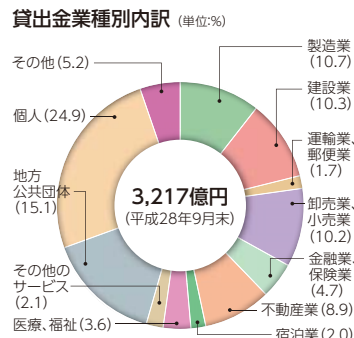
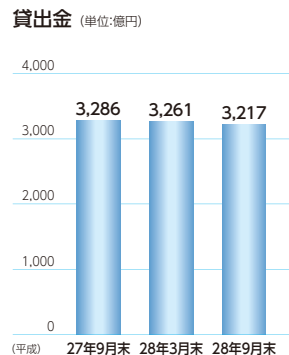
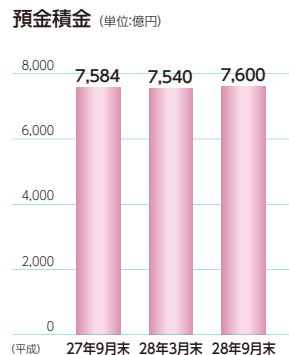
平成28年度上半期のご報告
(平成28年4月1日～平成28年9月30日) 上半期レポート



預金積金と貸出金

平成28年9月末の預金積金は、個人の定期性預金が伸び悩んだものの、法人・個人とも流動性預金が増加し、平成28年3月末比59億46百万円増加して7,600億13百万円となりました。

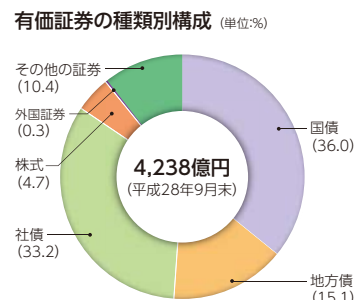
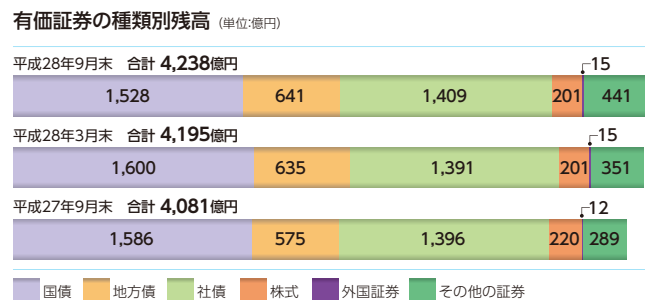
貸出金は、住宅関連資金を中心に個人消費性資金が堅調に推移しましたが、事業性資金の低迷により、平成28年3月末比44億27百万円減少して3,217億52百万円となりました。



有価証券

みなさまからお預かりした大切な預金積金は、貸出金のほかに国債・社債等の有価証券でも運用しています。当金庫は運用にあたり、安全性を重視した方針を堅持しています。

平成28年9月末の有価証券は、平成28年3月末比42億91百万円増加して4,238億55百万円となりました。



有価証券の時価情報

売買目的有価証券 (単位:百万円)

平成28年3月末		平成28年9月末	
貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当事業年度の損益に含まれた評価差額
55	0	63	0

満期保有目的の債券 (単位:百万円)

	平成28年3月末			平成28年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	36,019	37,017	998	32,059	32,888	829
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	100	89	△10	100	93	△6
合計	36,119	37,107	987	32,159	32,982	823

(注)時価は、決算日における市場価格等に基づいております。

売買目的有価証券:時価の変動により利益を得ることを目的とし、短期間保有する有価証券です。
満期保有目的の債券:社債などのように満期まで長期保有する債券です(株式は含みません)。一定の期間ごとの利息を得ることを目的に保有し、満期に額面で償還される債券です。
その他有価証券:上記2つおよび「子会社・関連会社株式」に分類できない有価証券です。

その他有価証券 (単位:百万円)

	種類	平成28年3月末			平成28年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	16,579	11,831	4,748	15,574	11,341	4,233
	債券	322,510	305,684	16,826	317,259	300,877	16,382
	その他	19,988	16,813	3,174	21,059	18,265	2,793
	小計	359,079	334,329	24,749	353,893	330,483	23,409
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	3,409	3,739	△329	4,428	4,969	△540
	債券	4,121	4,198	△77	8,537	8,656	△118
	その他	16,652	17,997	△1,344	24,654	26,793	△2,138
	小計	24,183	25,935	△1,751	37,620	40,418	△2,797
合計		383,262	360,264	22,997	391,514	370,902	20,611

(注)貸借対照表計上額は、決算日における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券 (単位:百万円)

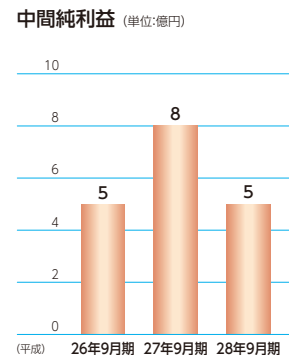
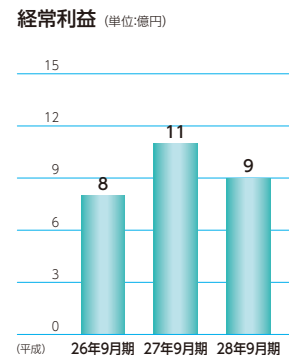
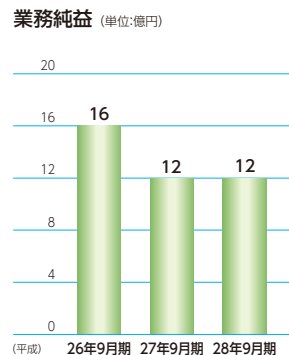
内 容	平成28年3月末	平成28年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社株式	10	10
非上場株式	172	172

収益

マイナス金利の環境下、資金運用収益が大幅に減少しましたが、国債等債券売却益の増加、一般貸倒引当金の戻入のほか経費の縮減に努めた結果、業務純益は前年同期比微増の12億91百万円となりました。

経常利益は、株式等売却益の減少を主因として前年同期比1億96百万円減少して9億52百万円となりました。

この結果、中間純利益は前年同期比2億71百万円減少して5億69百万円となりました。

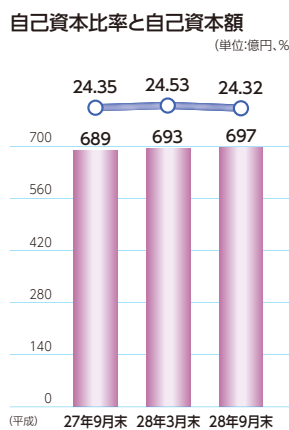


自己資本比率

自己資本比率は、信用リスク・アセット(リスクがある資産)等に対して自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性・安全性をみる重要な指標の一つです。国内業務を行う金融機関には4%以上の自己資本比率が求められています。

平成28年9月期の自己資本比率は24.32%であり、引き続き高水準の自己資本比率を維持しています。

また、リスクの備えとしての自己資本額は平成28年3月末比、4億67百万円増加し697億81百万円となりました。そのほとんどがみなさまからの出資金と特別積立金であり、自己資本の質は良好な水準にあります。



自己資本の構成 (単位:百万円)

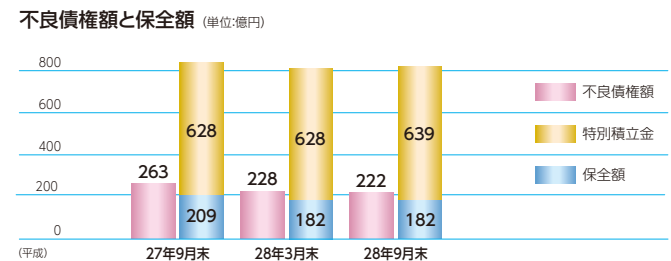
	平成28年3月末	平成28年9月末
自己資本の額	69,314	69,781
コア資本に係る基礎項目の額	70,311	70,752
コア資本に係る調整項目の額	996	970
リスク・アセット等	282,558	286,924
信用リスク・アセット	261,035	265,401
オペレーショナル・リスク相当額の合計額 ÷ 8%	21,522	21,522
自己資本比率	24.53%	24.32%

(注)経過措置による不算入額はありませぬ。

不良債権 (金融再生法開示債権)

地域の中小企業の経営環境は依然として先行き不透明感がぬぐえない状況にあります。企業再生支援と不良債権発生防止に努めた結果、開示債権額は平成28年3月末比6億66百万円減少し222億30百万円となり、総与信残高に占める割合も0.12ポイント低下し6.85%となりました。

このうち、担保や保証、貸倒引当金などにより182億45百万円が保全されており、未保全額は39億85百万円になりますが、特別積立金639億67百万円により十分にカバーされています。



金融再生法開示債権 (単位:百万円)

区分	平成28年3月末	平成28年9月末
	残高	残高
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,039	2,144
危険債権	20,079	19,349
要管理債権	777	736
小計	22,896	22,230
正常債権	305,581	301,848
合計	328,478	324,078